

# No. 1158

## 児玉宅、直撃さる

23日朝、ロッキード事件のカギを握る人物、児玉蒼士夫の自宅に小型機が突っ込み炎上、パイロットは即死した。操縦していたのは渋谷区笹塚に住む映画俳優、前野光保で、飛行服に身をかため、左肩に日の丸の腕章をつけた特攻隊スタイル、ロッキード事件に不満を持ち覚悟の上の自殺飛行だった。事故当時、児玉は二階にいたが事故発生と同時に秘書らが一階の安全な場所に避難させ無事だった。ロッキード事件の疑惑がいまだに解明されてない今、死を持って抗議したこの事件は現代日本の政財界の腐敗を感じさせるものではなかろうか。

## 春の詩

— 愛知・伊良湖岬 —

(南国情緒豊かで、常春の気候に恵まれた愛知県・伊良湖岬をカメラ・ルポ)

## 華やかにオープン

— 新生ナゴヤ球場 —

新装なったナゴヤ球場、きれいに塗り替えられた観客席、スコアボードには他球場の試合経過を示す新装置もつけられました。3月20日、新生ナゴヤ球場の開場式が行なわれました。中日ミス、カメラから中日与那嶺、南海野村の両監督へ花たばの贈呈。投手・栗田ナゴヤ球場社長、捕手・小山中日球団社長のバッテリーで始球式、こけら落しの中日・南海のオープン戦が行なわれました。

攻守の要、高木守道、谷沢、井上、マーチンのクリンアップは今年も健在。躍進著しい島谷がホームランで球場開きを祝福。リーグ随一の速球を誇る鈴木孝政。新生ナゴヤ球場で今年も熱戦がくりひろげられることでしょう。